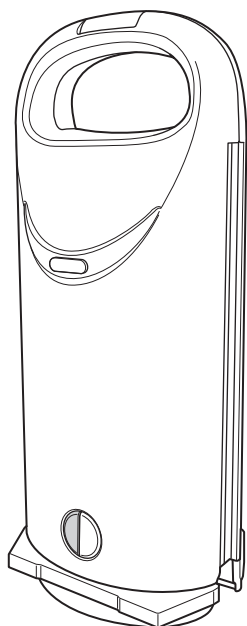


オムレッツメーカー HST-702 / TSH-702

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。



も く じ

安全上のご注意	P. 2~3
各部の名称とはたらき	P. 4
使用する前に	P. 4
正しい使いかた	P. 5~8
お手入れと保存	P. 9
修理・サービスを依頼する前に	P.10
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙



仕 様

型 名	HST-702 / TSH-702
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	700W
温度ヒューズ	240°C
電源コード長さ	約 1.4m
外形寸法	約 幅 31 × 奥行き 13 × 高さ 9.5 cm
質 量	約 1.2 kg



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意



- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)




図記号の意味と例

	❯は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、❯の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)



警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。		電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 差し込みが中途半端では、感電・ショート・発火の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	 指示	定格15A以上のコンセントを単独で使う。 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。本体の下へ電源コードを通さない。 感電・ショート・発火の原因になります。		使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない、保存しない。 けが・やけど・感電の原因になります。	 プラグを抜く	お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になります。
	本製品のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電や異常動作してけがの原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 感電・ショート・発火の原因になります。修理は販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
	本製品を踏んだり、落としたり、たたいたり、強い力・大きな衝撃を与えない。与えてしまった場合は、使用しない。 故障するだけでなく、感電・けが・火災などの原因になります。	 ぬれ手禁止	濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電や火災、故障の原因になります。
	異常時(こげ臭い、発煙など)はすぐに電源プラグをコンセントから抜き、使用しない。 火災・感電の原因になります。	 水ぬれ禁止	本製品を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。

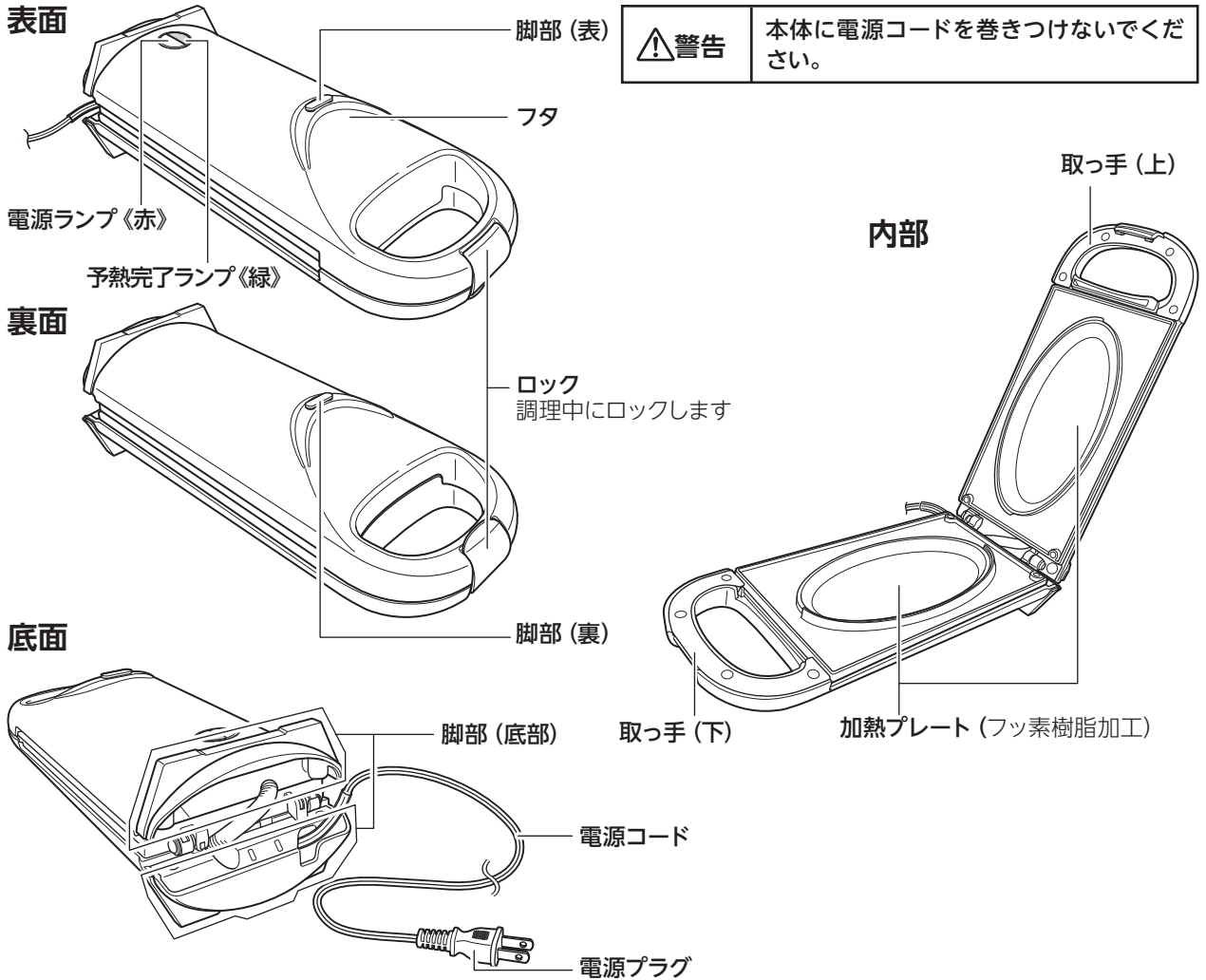
警告

 指示	調理物が発煙、発火したときは、すぐに電源プラグを抜く。 火災の原因になります。	 禁止	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使用しない。 ひび割れによるケガや引火による火災・変色・変形・感電・故障の原因になります。
	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。		使用中、本体の取っ手とロック以外には触れない。 やけどの原因になります。
 禁止	カーテンなどの可燃物の近くで使わない。燃えやすいものの近くで使用しない。 けが・故障・火災・変色や変形の原因になります。		業務用に使用しない。調理目的以外の使いかたはしない。 本製品は家庭用として設計・製造されています。業務用としての使用は、絶対にしないでください。
	不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けが・火災の原因になります。		

注意

 指示	電源プラグをコンセントから抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。 感電・ショートの原因になります。	 指示	壁や他のもの（特に可燃物）との間隔を十分にあけて設置する。 本体やまわりの物が変形・変質したり、火災の原因になります。
	お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行なう。 やけど・火災の原因になることがあります。	 プラグを抜く	調理物が発煙・発火したときは、電源プラグをコンセントから抜く。 火災の原因になります。 本体に影響があったときは、ドウシシャお客様相談室にご相談ください。
	使用時は本製品から離れないようにする。 火災の原因になります。	 禁止	使用後しばらくは、本体や加熱プレートに触れない。 やけどの原因になります。
	使用するたびにお手入れをする。 お手入れをしないでおくと、加熱プレートが痛んだり、故障する原因になります。		食べものの調理以外に使用しない。 やけど、火災、破損などの原因になります。
	フタをあけるときは十分注意する。 調理物の水分が蒸気として出てくるため、やけどの原因になります。		使用中、使用後フタをひらいたままにしない。 加熱プレートに悪影響を及ぼし、フタの重みでフタが閉じて手をはさむなど、けが・やけど・火災などの原因になります。
	購入後、初めて使用するときは十分お手入れしてから使用する。		金属製のヘラやフォークなどは使用しない。 加熱プレートを傷め、焦げなどの原因になります。
	加熱プレートと本体のすき間に食材の油などが入らないように注意する。 発煙・発火の原因になります。		フタを開けたまま調理しない。 発煙・発火や故障の原因になります。
加熱プレートと本体のすき間などに調理くずが残らないよう、こまめにお手入れする。 発煙・発火の原因になります。	通常使用でからだきをしない。 加熱プレートを傷め、発煙・発火・故障の原因になります。からだきは、初めて使用するときに以外しないでください。		

各部の名称とはたらき



使用する前に

初めてご使用になるときや、長らく使用していなかったときには、加熱プレートを十分に水拭きしたあと、一度通電させてから使用を開始してください。

(初めに若干臭いや煙が発生することがありますが、故障ではありません)

⚠ 注意

- フタをあけて加熱プレートを拭いたりするときは、必ず手で取っ手部をつかんでおくようにする。
フタの重みで、不意にフタがしまったりして、手をはさむ原因になります。
- 加熱プレート以外は濡らさない。
本体は耐水構造になっていませんので、内部に水分が入ると故障や火災の原因になります。

正しい使いかた

調理のしかた

1. 本体を平らな安定した場所に設置する

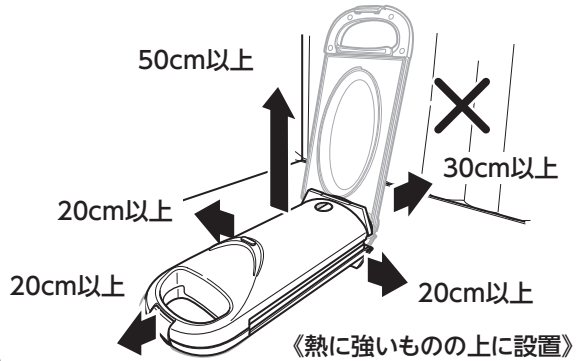
- 熱に強い素材でできた安定した台の上に設置してください。
- 本機は熱を持つため、周囲から適当な距離をもって設置し、電源コードが本体の下を通さないようにしてください。

警告

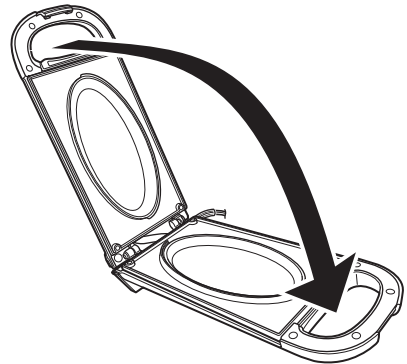
- 湿度の高い場所、屋外、直射日光のあたる場所、温度が高くなる場所、燃えやすいものの近くには設置・保存しない。電気関係のトラブルや、火災、故障の原因になります。
- 濡れた手で設置・接続しない。
- 使用するときは本体を立てない。電気関係のトラブルや、火災、故障の原因になります。予熱や調理するときは、本体を倒して、脚部（裏）が下になるように設置して使用してください。

本製品は壁や周囲から適当な距離を保って設置してください

カーテンなど燃えやすいものの近くでは使用しない



2. フタをあけて内部に何も無いことを確認し、再びフタをしめてロックをする



正しい使いかた(つづき)

3. 電源プラグをコンセントに接続して電源を入れる

※ 本機には電源スイッチがないため、電源プラグをコンセントに差すことによって電源の入/切をします。

ランプの動きと状態について

・電源ランプ《赤色》

電源プラグをコンセントに差すと常に点灯します。

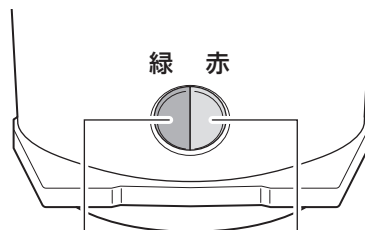
・予熱完了ランプ《緑色》

加熱プレートの温度を一定に保つため、自動でヒーターを入/切をします。

消灯：ヒーター入、予熱や加熱中です。

点灯：ヒーター切、予熱完了し、調理可能です。

※ 調理中も温度調節のため、消灯・点灯を繰り返します。

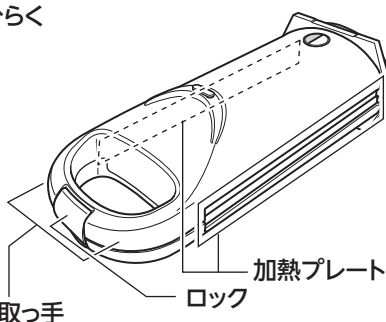


予熱完了ランプ [緑]

[赤] 電源ランプ

[状態]	[ランプの動き]	
	予熱ランプ [緑]	[赤] 電源ランプ
設置 (内部を確認)	消灯	消灯
▼ 電源プラグ接続	消灯	点灯
▼ 予熱完了	点灯	点灯
↓		

① フタをひらく



取っ手

ロック

加熱プレート

4. 予熱完了ランプ (緑) が点灯したら、ロックをはずし、フタをひらく①

予熱完了ランプ (緑) が点灯すると予熱完了です。

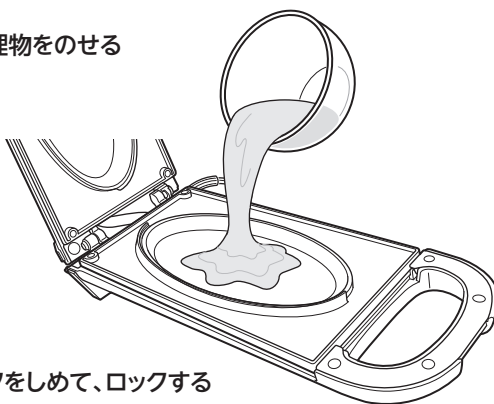
5. 加熱プレートの上に準備しておいた調理物をのせて②、フタをしめて、ロックをする③

食材のふくらみなど考慮して、量を調節してください。

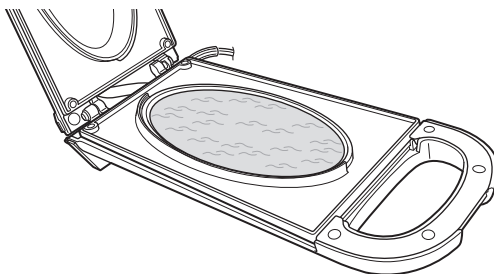
・ ロックができないときは、食材の分量を調節してください。

・ 油などひかなくても調理できますが、加熱プレートのフッ素樹脂加工が寿命になってくると、付着したままはずれにくくなりますので、多少の油をひいてなじませるようにしてください。

② 調理物をのせる



③ フタをしめて、ロックする



警告

電源プラグをコンセントに差してからは取っ手とロック以外には触れない。

特に左右側面の加熱プレートには絶対に触れない。

調理を終えてから本体が冷えるまで、本体は高温で、やけどの原因になります。



注意

・ 加熱プレートと本体のすき間に食材の油などが入らないように注意する。

発煙・発火の原因になります。

・ 加熱プレートと本体のすき間などに調理くずが残らないよう、こまめにお手入れする。

発煙・発火の原因になります。

⚠注意 フタをあけて調理物をのせるときは、必ず手で取っ手をつかんでおくようにする。フタの重みで、不意にフタがしまり、やけどや手をはさむ原因になります。

6. (調理によっては) 調理中に取っ手を持って表裏逆にする④

表面が上になるように調理し始めてください。

- 取っ手、ロック以外には触れないでください。
- 開く前に必ず元に戻して(ランプが上にある状態)ください。

⚠注意

- 電源コードが本体(フタや加熱プレートなど)に触れないように注意する。発煙・発火・故障の原因になります。
- 調理中、立てたりしない。発煙・発火・故障の原因になります。
- 表裏をひっくり返すと、食材によっては水気(汁)が出る場合がありますのでご注意ください。

7. ロックをはずし、注意してフタをひらいて調理具合を見て、できあがり判断する⑤

食材により調理時間が変わります。フタをあけて、できあがりを確認してください。焼きが足りないときは、再度フタをしめて、表裏逆にしてみたり、焼き時間を調節・対応してください。

- 予熱完了ランプはできあがり示すものではなく、ひとつの目安です。

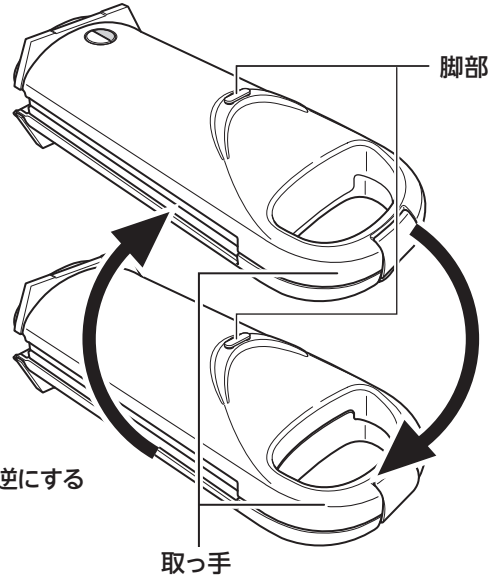
⚠注意

- フタをひらくときには十分注意する。フタをひらくときに湯気などが出てくる場合があります危険です。
- 調理物を取り出すときは、鋭利なもの、金属製のものを使用しない。加熱プレート表面を傷つけてしまうため、箸やヘラなどは金属製以外のものを使用してください。
- 食材のふくらみなどによりロックがかたくなってフタがあけられないときには、電源プラグをコンセントから抜き、少し冷めてからあけてください。

8. 続けて調理するときは手順4に戻って調理をする

再度予熱をして、予熱完了ランプが点灯してから調理をしてください。

9. 調理が終了したら、電源プラグをコンセントから取りはずす



④表裏逆にする

表裏逆にするときは、必ず取っ手を使用し、電源コードが熱を持つ部分に触れないようにして、フタにある脚部が下になるようにしてください。



⑤フタをひらく

10. 本体が冷めるのを待ち、お手入れをする

⚠警告 使用後は必ず電源プラグを抜く。接続したままにすると通電状態が続き、火災や故障の原因になります。

⚠注意 使用後はすぐにお手入れをする。そのままにしておくと、加熱プレートなどが傷む原因になります。温度が下がったのを確認してお手入れをしてください。

正しい使いかた(つづき)

調理のポイント

- 毎回同じ時間でできるとは限りませんので、確認しながら調理するようにしてください。
- 食材によっては調理するとき大きく膨張し、できあがりのあと、小さくしぼむこともあります。材料によって変化しますので、いろいろ試してください。
- 流し込む食材は、少なめにしておいたほうがうまくなります。はみ出してしまうと、お手入れが大変になります。
- 本機は表裏を逆にする事ができるので、使い方によっては様々な工夫ができます。

食材の準備

食材は、本製品を使用する前にあらかじめ準備しておいてください。

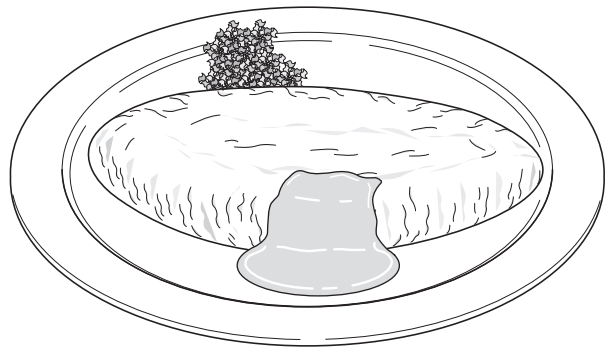
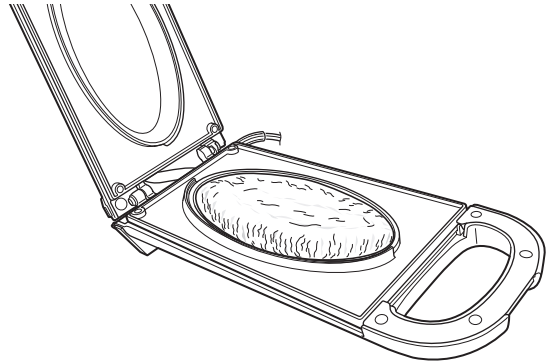
《食材》プレーンオムレツの材料 約1回分

・タマゴ	2個	・バター	5g
・牛乳	大さじ1		
・コショウ	少々		
・塩	少々		

ボウルにタマゴを割って入れておき、コショウ・塩・牛乳を混ぜ、ときほぐす。そのほかの材料は、材料によって一緒に混ぜるか、加熱プレートに流し込んだあとに加える。

※ 本製品は業務用として使用しないでください。

※ 本製品をオムレツなどの調理用以外に使用しないでください。



調理例

お手入れと保存



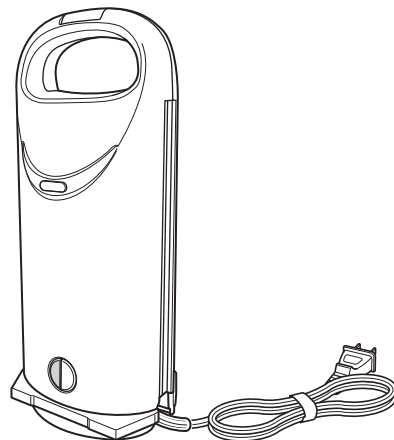
警告 お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めたことを確認する。感電やけが、やけどの原因になります。

外側・本体



警告 水につけたり、水をかけたりなどの水洗いは絶対にしない。ショート・感電の原因になります。

- ① 食器用中性洗剤（柑橘系を除く）を入れた水またはぬるま湯に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとります。
- ② 水またはぬるま湯に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとります。
- ③ さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。
 - ・住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。



内部・加熱プレート

- ・濡れたふきんやペーパータオルなどでふき取ります。
- ・取れにくいこびりつきなどは、オイルを1滴たらしてなじませると、取れやすくなります。
- ・加熱プレートまわり・電源コードなどにも、汚れが残らないようにしてください。
- ・たわしや金属製のへらなどを使わないでください。キズがつく原因になります。
- ・加熱プレートのフッ素樹脂加工は保証の対象外です。

保存のしかた

- ・通常、湿気のない場所に保存してください。
- ・本体を開いたままにせず、必ず閉じて、ロックをかけた状態で保存してください。

廃棄のしかた

- ・本製品は各自治体の指導に従って廃棄・リサイクルしてください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源ランプが点灯しない	・電源プラグが接続されていない	電源プラグを接続する
	・電源コードが傷んでいる	すぐに使用を中止し、ドウシシャお客様相談室に相談する
予熱完了ランプがついたり消えたりする	・故障ではありません 一定の温度に保つため、調整しているためです	そのままお使いください
においがする・煙が出る	・購入後最初～数回の使用	製造時の表面の処理によるもので問題ありません よくふいて、空焼きをしてから使用する
加熱プレートに調理物が付着する	・回数多く使用している	油をひいても付着するようなら加熱プレートの寿命を疑い、程度によってはドウシシャお客様相談室に相談する(有償修理になります)
カチッと音がする	・温度調節の音が発生している	問題ありません
焼き色が悪い	・加熱プレートが汚れている	加熱プレートをお手入れする
		調理の時間を調節する
焼き具合がムラがある	・食材が片寄っている ・設置場所が水平でない	平らな水平な場所に設置して、均一に食材を入れて調理する

長年ご使用のオムレツメーカーはよく点検を

このような症状はありませんか?

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

MEMO

故障・修理についてのご相談に関しては…

【受付時間】 9:00～17:00 (祝日以外の月～金曜日)

ドウシシャお客様相談室

☎0120-104-481

ドウシシャ福井家電カスタマーセンター 〒915-0857 福井県越前市四郎丸町52-5

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。



株式会社 **ドウシシャ**

www.doshisha.co.jp